

千葉教育

桜

令和2年度
No.667

千葉の子どもたちの未来のために

特集

読解力向上に向けた指導の在り方

○シリーズ 現代の教育事情

川村学園女子大学特任教授	田中 孝一
敬愛大学国際学部教授 こども教育学科長	向山 行雄
文部科学省初等中等教育局教育課程課	
県教育庁教育振興部学習指導課	

○提 言

沖ワークウェル 代表取締役社長	堀口 明子
-----------------	-------



千葉県総合教育センター

◆学校自慢	地域とともに歩む	いすみ市立大原中学校長	田邊 稔
◆提言	特別支援学校におけるキャリア教育の早期化～遠隔職場実習と出前授業～	沖ワークウェル 代表取締役社長	堀口 明子…2
シリーズ 現代の教育事情 読解力向上に向けた指導の在り方			
■読解力の向上に向けた指導の在り方	読解力の3相、その新教育課程での展開	川村学園女子大学特任教授	田中 孝一…4
■読解力向上に向けた指導の在り方		敬愛大学国際学部教授	こども教育学科長 向山 行雄…6
■OECD生徒の学習到達度調査2018年調査（PISA2018）の結果等について		文部科学省初等中等教育局教育課程課	…8
■「読解力向上」に向けた千葉県の学力向上施策		県教育庁教育振興部学習指導課	…10
私の教師道			
■学校を創る	えがおいっぱい学校をめざして	一宮町立一宮小学校長	永野 真仁…12
■学校を支える	教頭として心掛けていること「地域連携アクティブスクール」とは	県立船橋古和釜高等学校教頭	水島真一郎…14
■学校を動かす	感謝の気持ちを忘れずに	成田市立成田小学校主幹教諭	砂盛 裕子…16
■子供を知る	初任者研修で学んだこと～学び続ける教員に～	袖ヶ浦市立昭和小学校教諭	青木 美侑…17
■子供を知る	MINDを伝える	野田市立第一中学校教諭	植松 隼也…17
■授業を創る	段階的な「読むこと」、「書くこと」の活動を取り入れた小学校外国語科の実践	鴨川市立鴨川小学校教諭	石井 恭平…18
■授業を創る	新型コロナウイルス対策の休校下での学習指導	県立幕張総合高等学校教諭	肥田 博之…20
活・研究 長期研修生からの報告			
■小学校編	児童が考えを深める道徳科の授業づくり～発問構成と書く活動の工夫～	県教育庁教育振興部体育課主査	河田 光輔…22
■小学校編	深い学びを生む生活科の授業づくり～学習内容・方法の工夫と対話の促進・気付きの質の高まりの関心に着目して～	香取市立佐原小学校教諭	井上 春江…23
■小学校編	教師と児童生徒の信頼関係を築くコミュニケーションのあり方～ミスコミュニケーションの事例から～	市川市教育センター指導主事	佐竹 千尋…24
■特別支援学校編	重度重複障害を有する児童の人との関わりを深める道徳の実践～障害の状態等に合わせた目標と生活に結びついた体験活動を通して～	県立桜が丘特別支援学校教諭	中西 荘祐…25
ケーススタディ			
■ネットいじめ問題への対応について		和洋女子大学特任教授	柴内 靖…26
保幼小の連携			
■保幼小一貫型の保育・教育を目指して～地震・津波の避難訓練を通して～		鋸南町立鋸南幼稚園長	樋口 和夫…28
教育の情報化			
■中学校技術・家庭科（技術分野）ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング授業実践の紹介		県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当	…29
情報アラカルト			
■教育相談コーディネーターを生かした機能的な教育相談体制の構築に向けて		県子どもと親のサポートセンター教育相談部	…30
■研修履歴システム「Asttra（アストラ）」の活用方法		県総合教育センター研修企画部	…32
学校 NOW！			
■先進校の取組	9年間の豊かな「学び」と「育ち」をつなぐ	市川市立塩浜学園	…34
■学校歳時記	「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（答申）をめぐって	千葉大学教育学部特任教授	天笠 茂…36
◆発信！特別支援教育	知的障害教育における各教科等の指導目標の設定及び学習評価を行うためのツールの開発（令和2～3年度）	県総合教育センター特別支援教育部	…38
◆千葉歴史の散歩道	加曾利貝塚の今とこれから	県教育庁教育振興部文化財課文化財主事	武田 芳雅

道 標

ビッグデータやIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）等をはじめとする技術革新が一層進展し社会や生活を大きく変えていく超スマート社会（Society5.0）の到来が予測されている。このようなかつてない大きな社会変革期の中で、人間らしく豊かに生きていくために必要な力の一つとして、文章や情報を正確に理解し、論理的思考を行うための読解力が求められている。

しかし、OECD生徒の学習到達度調査（PISA）の2018年調査において、読解力は、OECD平均より高得点のグループに位置（第15位）しているものの、前回2015年調査よりも平均得点及び順位が低下していることが分かった。萩生田文部科学大臣は、「低得点層が増加しており、学習指導要領の検討過程に

おいて指摘された、判断の根拠や理由を明確にしながらか自分の考えを述べることなどについて、引き続き、課題が見られることも分かった。」とコメントしている。

現在、学校においては、新学習指導要領が小学校から順次、全面実施され、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現、読解力等の言語能力の確実な育成を目指した取組が行われているところである。

本号では、識者の考えや教育関係機関の取組を紹介する。各学校においては、自校の取組を振り返り、子供たちの読解力を高めるための深い学びの指導方法や、学び方の研究の一助としていただければ幸いである。